

I 事業報告書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

財団法人鈴鹿国際交流協会では、市民の国際交流に関する相互理解を深め、友好親善を図るために、市内外の諸団体及び市民と連携しながら国際交流活動を推進しております。

1990 年以降に国内の労働力不足を補うため、多くの日系人をはじめとした外国人を受け入れてきました。ところが 2008 年の世界的経済不況の影響を受け、在住外国人は仕事を失い、生活困窮から帰国するなどして外国人登録者数は、次第に減少する傾向にあります。

このような状況のもと、鈴鹿国際交流協会では、2009 年度において行政、市内企業、市民団体とともに、日本人と外国人がともに築く、住みよい多文化共生社会の実現を目指して、次のような事業を推進してきました。

1 事業の概要

(1) 交流事業

○青少年ベルフォンテン市派遣事業中止

市内の中学・高校生派遣は新型インフルエンザ猛威の影響で中止しました。

(2) 情報収集・提供事業

①ホームページ

協会事務所移転に伴いホームページを更新しました。また計画している事業の情報周知、事業の実施後にタイムリーな情報を掲載したほか、ボランティアの活動など紹介して多文化共生の啓発を行ないました。

②協会（SIFA）ニュース

年間 4 回（平成 21 年 4・7・10 月、22 年 1 月）・発行部数 550 部

協会役員（理事・監事・評議員）賛助会員及びボランティア会員への協会機関紙として発行しました。

③ホームビジット、ホームステイの受入れ

「短期日本研修生」

・カナダのシェルダンカレッジ学生 1 名 平成 21 年 5 月 25 日（月）～31 日（日）
鈴鹿国際大学から交換留学大学生としての受入れ依頼があったもので、ボランティア会員にお世話を頂き、日本文化と日本の生活様式を体験していただきました。

・中国の青海師範大学研修生 1 名 平成 22 年 2 月 2 日（火）～6 日（土）
鈴鹿短期大学の研修生で、ボランティア会員にお世話いただきました。
日本文化と日本の生活様式を体験していただきました。

④情報提供企画

・Suzuka Voice FM SIFA タイアップ事業

鈴鹿市には、9 千人余りの外国人が暮らしています。

そこで地元の FM 放送局から地域の国際交流や多文化共生に根ざした情報発信を行ないました。また、日本人と在住外国人が共に生きる地域社会を実現するため情報提供し、市民意識の向上をはかりました。

⑤「SIFA 国際交流 20 年のあゆみ展」

日 時 平成 22 年 2 月 1 日(月) ～5 日(金) AM 8:30～PM 5:15

場 所 鈴鹿市役所 市民ロビー

内 容 協会事業の中で友好都市交流・青少年派遣事業などの交流事業を紹介するとともに、各種セミナー・講座・多文化共生事業などの写真や交流記念品等を展示して、多くの市民の方に交流活動の重要性を理解していただき、今後の国際交流活動に繋げていくために企画しました。

⑥研修等への参加

○MIEF 災害時外国人サポーター講座に職員が参加

・平成 21 年 10 月 18 日(日)「災害ボランティアの実務を知る」三重県民交流センター

・平成 21 年 11 月 1 日(日)「多文化に触れ防災について考える」津市お城西公園

・平成 21 年 11 月 15 日(日)「自分にできる外国人支援を見つけよう」三重県民交流センター

○外国人集住都市会議岐阜・三重・滋賀ブロック会議への参加

多文化共生社会をめざして～すべての人が安心して暮らせる地域づくり～

第 1 回 平成 21 年 7 月 6 日(月) 滋賀県湖南市役所

第 2 回 平成 21 年 8 月 4 日(火) 滋賀県湖南市役所

第 3 回 平成 21 年 9 月 2 日(水) 滋賀県湖南市役所

第 4 回 平成 21 年 10 月 6 日(火) 滋賀県湖南市役所

○イアッツフォーラム「開校式・修了式典」に参加

春・平成 21 年 4 月 11 日(土) 鈴鹿サーキット 開講式

・平成 21 年 5 月 30 日(土) 鈴鹿サーキット 修了式

秋・平成 21 年 9 月 19 日(土) 鈴鹿サーキット 開講式

・平成 21 年 11 月 7 日(土) 鈴鹿サーキット 修了式

(3) 活動支援事業

①タランガフレンドシップ・グループ 15 周年記念事業

主 催 タランガフレンドシップ・グループ

日 時 平成 21 年 8 月 7 日(金) ～12 日(水)

場 所 鈴鹿市文化会館 さつきプラザ

事業内容 スリランカの人々の生活実態や教育活動などをパネル展示やビデオ等で紹介

②「国際交流フェスタ in 鈴国大」

主 催 鈴鹿国際大学

日 時 平成 21 年 11 月 28 日(土) PM 1:00～PM 3:00

場 所 鈴鹿国際大学(国際文化ホール・体育館)

③F-1 通訳ボランティア事業

主 催 鈴鹿商工会議所

日 時 平成 21 年 10 月 2 日(金) ～4 日(日)

場 所 近鉄白子駅前, 伊勢鉄道鈴鹿サーキット稲生駅前, 鈴鹿サーキット

④多文化共生への道 作物収穫事業

- 主 催 鈴鹿青年会議所
 日 時 平成 21 年 5 月 17 日 (日) , 7 月 5 日 (日) , 9 月 20 日 (日)
 場 所 石薬師町 1255 番地付近の畑
- ⑤「南米ラテン音楽の夕べ」 国際交流活動推進事業
 主 催 牧田地区地域づくり協議会 多文化共生委員会
 日 時 平成 21 年 11 月 28 日 (土) PM 6:30~PM 9:00
 場 所 牧田コミュニティセンター 2 階ホール
- ⑥日本語教室 活動支援事業
 主 催 牧田いろは教室
 日 時 平成 21 年 4 月 11 日 (土)~12 月 26 日 (土)は第 2, 第 4 土曜日
 平成 22 年 1 月 9 日 (土)~3 月 27 日 (土)は毎週土曜日
 場 所 牧田コミュニティセンター又は牧田公民館
- ⑦「パプアニューギニアの子供たちと絵画で環境を考えよう」(後援事業)
 主 催 アジア・パシフィック友好の翼
 日 時 平成 21 年 10 月 28 日 (水) ~30 日 (金)
 場 所 パプアニューギニア ラバウル市とポートモレスビー市の学校

(4) 共生推進事業

①日本語会話講座開催事業

市内在住外国人のために日本語の会話講座を開催しました。

- ・前期 (5 月 12 日 (火) ~10 月 6 日 (火)) 受講生数 延べ 31 名
- ・後期 (10 月 13 日 (火) ~3 月 18 日 (木)) 受講生数 延べ 16 名 計 47 名

②ブラッシュアップ講座

飯野高校応用デザイン科の先生にご協力いただき「日本語が、まだ上手でない人と簡単な絵でコミュニケーションしたい」「絵教材を上手に作りたい」をかたちにする講座を開催しました。

日 時 平成 21 年 10 月 25 日 (日) AM 10:00~PM 3:30
 場 所 鈴鹿市牧田コミュニティセンター 2 階ホール
 参加者 30 名

③日本語指導者研修事業

「日本語ボランティア養成講座」本年度は、次のとおり開催しました

期 間 平成 21 年 5 月 9 日 (土) ~6 月 27 日 (土) (全 10 回・土)
 講 師 日本語教師, 市内ボランティア日本語教室代表, 鈴鹿国際大学留学生
 参加費 一般 6,000 円, 賛助会員 3,000 円
 募集人数 30 名 / 応募者 24 名

④学習支援ボランティア養成講座

外国籍の子供達の学習環境を整えることが求められており, 市内の学習支援教室において学習をサポートするボランティアを養成する講座を実施しました。

日 時 平成 22 年 2 月 2 日 (火) ~23 日 (火) (全 4 回・火)
 PM 1:30~PM 3:00
 場 所 鈴鹿市文化会館, 鈴鹿市労働福祉会館, 桜島小学校

講 師 鈴鹿市教育委員会事務局人権教育課 職員

参 加 者 24名

⑤外国語版広報紙発行事業（マンスリー）

日本語, ポルトガル語及びスペイン語版の広報紙を毎月発行しました。

発行部数 毎月 約 4,200 部

(ポルトガル語約 2,600 部, スペイン語約 1,100 部, 日本語約 500 部)

広報すずかの記事を中心に在住外国人の方が必要とする内容を翻訳し, 印刷して, 市内の学校, 企業及び外国人が集住する店等へ配布しました。

⑥YUKATA の着付け&盆踊り講習会

着付け講師と踊りの講師を招いて外国人の皆さんに YUKATA を着て, 盆踊り大会に出てもらおうという企画をしました。

日 時 平成 21 年 7 月 19 日 (日), 8 月 7 日 (金), 8 月 9 日 (日), 8 月 15 日 (土) 盆踊り大会

場 所 ふれあいセンター, 牧田コミュニティセンター, 桜島小学校

⑦共生社会推進イベント

鈴鹿国際交流フェスタ: わいわい春まつり ~アミーゴ♥TOMODACHI~

実行委員会の組織を市民ボランティアの方々に立ち上げて頂き, 話合いにより企画運営について協議を進め, 平成 22 年 4 月 25 日 (日) 鈴鹿ハンターにおいて実施できるよう, 平成 21 年 9 月 6 日 (日) ~平成 22 年 3 月 27 日 (土) に 7 回に亘って実行委員会を開催しました。

⑧留学生等への支援

平成 22 年 3 月鈴鹿国際大学等への留学生に対して, 市民, 賛助会員, ボランティア会員等の協力を得て生活物資を提供しました。

(5) 研修啓発事業

①国際理解セミナー

* 「作者の児童文学から見えるカナダ移民の歴史」

日 時 平成 21 年 5 月 10 日 (日) AM 10:00~PM 0:00

場 所 ジェフリー すずか

講 師 ジャクリーン・ピアース

参 加 者 30 名

* 「ブラジル満喫デー」

日 時 平成 21 年 8 月 29 日 (土) PM 1:00~PM 4:00

場 所 牧田コミュニティセンター (2 階ホール)

参 加 者 68 名

一部ではテンポ・フェリスのボサノバ演奏, 二部ではブラジルへ派遣された元 JICA ボランティアの藤原瞳さんの講演, そして三部では地域住民と多文化交流会を開催しました。

②国際理解料理講座

* ブラジルのお母さんの家庭料理

日 時 平成 21 年 9 月 12 日 (土)

場 所 鈴鹿市文化会館 調理室

参加者 24名

*中国料理

日時 平成21年12月12日(土) AM 10:00~PM 2:00

場所 鈴鹿市文化会館 調理室

参加者 34名(うちブラジル人8名+ペルー人1名)

③語学講座

[平成21年5月~10月 募集人員各20名「中国語のみ18名」]

英会話初級講座Ⅰ (夜の部) ・20回 ・受講者数 13名

英会話初級講座Ⅱ (昼の部) ・20回 ・" 16名

英会話中級講座Ⅰ (夜の部) ・20回 ・" 17名

英会話中級講座Ⅱ (昼の部) ・20回 ・" 16名

中国語入門講座 (夜の部) ・20回 ・" 13名

*定員98名のところ応募者75名(76.5%) 「平成20年度97名/115名=84.3%」

(6) 他団体への参加

①第9回 夏の鈴鹿川体験

主催 やすらぎ君ネット「夏の鈴鹿川体験実行委員会」

日時 平成21年8月16日(日) AM 10:00~PM 3:00

場所 鈴鹿川河川緑地(定五郎橋西)

内容 日本人と在住外国人市民が参加するイベントである趣旨に賛同し参加しました。「多文化共生社会」に向けて、在住外国人の方と一緒に鈴鹿川「定五郎いかだ流し」にも参加し、外国語ポスターを作成して配布しました。

②三重県国際交流協会連絡会

主催 三重県国際交流財団

日時 平成22年2月10日(水) AM 10:30~

場所 三重県国際交流財団 会議室

内容 県内の協会が集まり、外国人住民施策及び地域の課題について情報交換を行いました。

(7) 事務所移転

○近鉄鈴鹿市駅ビルから鈴鹿市民会館内へ

平成22年1月4日に鈴鹿市神戸1丁目1-1近鉄鈴鹿市駅ビル3階から鈴鹿市神戸1丁目18-18鈴鹿市民会館正面玄関西へ協会事務所を移しました。

2 庶務事項

評議員会 第1回 平成21年 5月 19日(火)

第2回 平成21年 5月 29日(金)

第3回 平成21年 7月 30日(木)

第4回 平成21年 12月 21日(月)

第5回 平成22年 3月 3日(水)

理事会 第1回 平成21年 6月 1日 (月)
第2回 平成21年 9月 29日 (火)
第3回 平成22年 3月 30日 (火)

法人検査 法人の業務及び財産の状況について三重県生活文化部
国際室による検査 平成22年 3月 5日 (金)

Ⅱ 決算報告書

1 貸借対照表

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	6,833,018	4,385,953	2,447,065
流動資産合計	6,833,018	4,385,953	2,447,065
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	150,000,000	150,000,000	0
基本財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	566,400	283,200	283,200
減価償却引当資産	1,643,178	1,100,282	542,896
事業推進積立資産	2,533,789	2,533,789	0
特定資産合計	4,743,367	3,917,271	826,096
(3) その他の固定資産			
車両運搬具	315,437	585,812	△270,375
什器備品	97,197	206,968	△109,771
ソフトウェア	311,938	474,688	△162,750
その他の固定資産合計	724,572	1,267,468	△542,896
固定資産合計	155,467,939	155,184,739	283,200
資産の部合計	162,300,957	159,570,692	2,730,265
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,536,507	471,901	2,064,606
預り金	118,803	116,015	2,788
流動負債合計	2,655,310	587,916	2,067,394
2 固定負債			
退職給付引当金	566,400	283,200	283,200
固定負債合計	566,400	283,200	283,200
負債の部合計	3,221,710	871,116	2,350,594
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	159,079,247 (150,000,000)	158,699,576 (150,000,000)	379,671 (0)
(うち特定資産への充当額)	(4,176,967)	(3,917,271)	(259,696)
正味財産合計	159,079,247	158,699,576	379,671
負債及び正味財産合計	162,300,957	159,570,692	2,730,265

2 正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
[1] 経常収益			
(1) 基本財産運用益	1,950,000	1,950,000	0
基本財産受取利息	1,950,000	1,950,000	0
(2) 受取会費	1,004,000	1,016,000	△12,000
賛助会員受取会費	1,004,000	1,016,000	△12,000
(3) 事業収益	1,529,850	5,345,700	△3,815,850
自主事業収益	1,529,850	3,425,700	△1,895,850
参加負担金収益	0	1,920,000	△1,920,000
(4) 受取補助金	22,348,000	19,974,000	2,374,000
受取市補助金等	22,348,000	19,974,000	2,374,000
(5) 受取寄付金	1,000	0	1,000
受取寄付金	1,000	0	1,000
(6) 雑収益	51,783	123,070	△71,287
受取利息	14,633	17,515	△2,882
雑収益	37,150	105,555	△68,405
経常収益計	26,884,633	28,408,770	△1,524,137
[2] 経常費用			
(1) 事業費	14,608,021	20,985,576	△6,377,555
交流事業費	1,450,542	7,008,718	△5,558,176
研修啓発事業費	5,053,232	5,554,863	△501,631
情報収集提供事業費	2,960,571	3,851,535	△890,964
国際交流活動推進事業費	595,000	395,000	200,000
共生推進事業費	4,548,676	4,175,460	373,216
(2) 管理費	11,896,941	7,171,536	4,725,405
役員報酬	100,000	100,000	0
給与費	4,554,229	5,177,786	△623,557
給料手当	3,995,731	4,552,161	△556,430
福利厚生費	558,498	625,625	△67,127

科 目	当年度	前年度	増減
事務費	7,242,712	1,893,750	5,348,962
会議費	163,479	162,080	1,399
旅費交通費	0	4,480	△4,480
消耗品費	309,813	77,235	232,578
印刷製本費	157,540	247,872	△90,332
燃料費	14,129	32,309	△18,180
修繕費	4,441,500	53,991	4,387,509
通信運搬費	463,746	138,682	325,064
使用料及び賃借料	442,929	383,270	59,659
消耗什器備品費	73,500	0	73,500
負担金	108,800	114,800	△6,000
保険料	104,570	100,290	4,280
租税公課	13,800	6,400	7,400
委託料	320,000	0	320,000
諸謝金	0	0	0
支払手数料	86,010	29,295	56,715
退職給付	0	0	0
減価償却費	380,146	380,146	0
ソフトウェア減価償却費	162,750	162,900	△150
経常費用計	26,504,962	28,157,112	△1,652,150
当期経常増減額	379,671	251,658	128,013
2 経常外増減の部			
[1] 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
[2] 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	379,671	251,658	128,013
一般正味財産期首残高	158,699,576	158,447,918	251,658
一般正味財産期末残高	159,079,247	158,699,576	379,671
II 指定正味財産増減の部			
(1) 一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	159,079,247	158,699,576	379,671

3 財 産 目 録

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金			
百五銀行 鈴鹿支店	5,674,916		
三重銀行 鈴鹿支店	1,158,102		
流動資産合計		6,833,018	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
地方債資金（鈴鹿市）	150,000,000		
基本財産合計	150,000,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	566,400		
減価償却引当資産	1,643,178		
事業推進積立資産	2,533,789		
特定資産合計	4,743,367		
(3) その他の固定資産			
車両運搬具	315,437		
什器備品	97,197		
ソフトウェア	311,938		
その他の固定資産合計	724,572		
固定資産合計		155,467,939	
資産の部合計			162,300,957
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,536,507		
預り金	118,803		
流動負債合計		2,655,310	
2 固定負債			
退職給付引当金	566,400		
固定負債合計		566,400	
負債の部合計			3,221,710
正味財産			159,079,247

4 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具, 什器備品及びソフトウェア・・・定額法による。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・・・・・・・期末退職給与の要支給額に相当する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は, 税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は, 次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
地方債	150,000,000	—	—	150,000,000
小 計	150,000,000	—	—	150,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	283,200	283,200	0	566,400
減価償却引当資産	1,100,282	542,896	0	1,643,178
事業推進積立資産	2,533,789	0	0	2,533,789
小 計	3,917,271	826,096	0	4,743,367
合 計	153,917,271	826,096	0	154,743,367

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は, 次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
地方債	150,000,000	—	(150,000,000)	—
小 計	150,000,000	—	(150,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	566,400	—	—	(566,400)
減価償却引当資産	1,643,178	—	(1,643,178)	—
事業推進積立資産	2,533,789	—	(2,533,789)	—
小 計	4,743,367	—	(4,176,967)	(566,400)
合 計	154,743,367	—	(154,176,967)	(566,400)

4 担保に供している資産

該当なし。

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
車両備品 (公用車)	1,081,500	766,063	315,437
什器備品 (パソコン)	472,500	375,303	97,197
ソフトウェア	813,750	501,812	311,938
合 計	2,367,750	1,643,178	724,572

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の 名 称	交 付 者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表 上の記載区分
国際交流事業 市補助金	鈴 鹿 市	0	22,348,000	22,348,000	0	—
合 計	—	0	22,348,000	22,348,000	0	—

5 収支計算書

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	1,950,000	1,950,000	0	
基本財産利息収入	1,950,000	1,950,000	0	
(2) 会費収入	994,000	1,004,000	△10,000	
賛助会費収入	994,000	1,004,000	△10,000	
(3) 事業収入	1,529,000	1,529,850	△850	
自主事業収入	1,529,000	1,529,850	△850	
参加負担金収入	0	0	0	
(4) 補助金収入	22,569,000	22,348,000	221,000	
市補助金等収入	22,569,000	22,348,000	221,000	
(5) 寄付金収入	0	1,000	△1,000	
寄付金収入	0	1,000	△1,000	
(6) 雑収入	39,000	51,783	△12,783	
受取利息収入	9,000	14,633	△5,633	
雑収入	30,000	37,150	△7,150	
事業活動収入計	27,081,000	26,884,633	196,367	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	14,864,000	14,324,821	539,179	
交流事業費支出	1,380,000	1,379,742	258	
研修啓発事業費支出	4,983,000	4,982,432	568	
情報収集提供事業費支出	3,166,000	2,889,771	276,229	
国際交流支援補助事業費支出	595,000	595,000	0	
共生推進事業費支出	4,740,000	4,477,876	262,124	
(2) 管理費支出	11,495,000	11,354,045	140,955	
役員報酬支出	100,000	100,000	0	
給与費支出	4,562,498	4,554,229	8,269	
給料手当支出	4,004,000	3,995,731	8,269	
福利厚生費支出	558,498	558,498	0	注 1

科 目	予算額	決算額	差異	備考
事務費支出	6,832,502	6,699,816	132,686	
会議費支出	209,000	163,479	45,521	
旅費交通費支出	0	0	0	
消耗品費支出	309,813	309,813	0	注1
印刷製本費支出	186,689	157,540	29,149	注1
燃料費支出	21,000	14,129	6,871	
修繕費支出	4,460,000	4,441,500	18,500	
通信運搬費支出	474,000	463,746	10,254	
使用料及び賃借料支出	461,000	442,929	18,071	
消耗什器備品費支出	74,000	73,500	500	
負担金支出	109,000	108,800	200	
保険料支出	105,000	104,570	430	
租税公課支出	16,000	13,800	2,200	
委託料支出	320,000	320,000	0	注1
諸謝金支出	0	0	0	
支払手数料支出	87,000	86,010	990	
退職給付支出	0	0	0	
事業活動支出計	26,359,000	25,678,866	680,134	
事業活動収支差額	722,000	1,205,767	△483,767	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出	827,000	826,096	904	
退職給付引当資産取得支出	284,000	283,200	800	
減価償却引当資産取得支出	543,000	542,896	104	
事業推進積立資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	827,000	826,096	904	
投資活動収支差額	△827,000	△826,096	△904	
III 予備費支出	100,000	0	100,000	
当期収支差額	△205,000	379,671	△584,671	
前期繰越収支差額	3,798,000	3,798,037	△37	
次期繰越収支差額	3,593,000	4,177,708	△584,708	

6 収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金、未収金、未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	4,385,953	6,833,018
合 計	4,385,953	6,833,018
未 払 金	471,901	2,536,507
預 り 金	116,015	118,803
合 計	587,916	2,655,310
次期繰越収支差額	3,798,037	4,177,708

3 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用 (注1)

予算科目のうち管理費－委託料支出より 37,498 円を福利厚生費支出に、管理費－印刷製本費支出より 21,311 円、管理費－委託料支出より 62,502 円を管理費－消耗品費支出に流用した。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費－福利厚生費支出	521,000	37,498	558,498
管理費－消耗品費支出	226,000	83,813	309,813
管理費－印刷製本費支出	208,000	△21,311	186,689
管理費－委託料支出	420,000	△100,000	320,000